

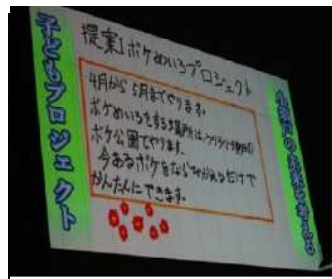
# 8月8日 子どもプロジェクト 「私たちの小須戸“今”そして“未来”へ」

主催：小須戸コミュニティ協議会 環境・教育部会

## プロジェクト上映会行われる

# こすど地区公民館報

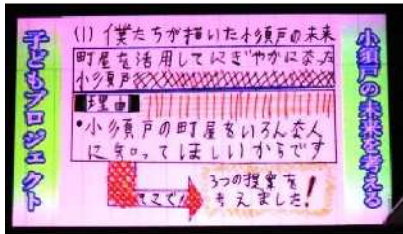
発行/編集 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟市秋葉区小須戸120番地5  
TEL (0250) 25-5715  
FAX (0250) 38-5210  
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp



子どもたちは他都市の先進事例などを調査し、交流人口増加に繋がる様々な提案を行いました。



8月8日(木)午後7時より小須戸まちづくりセンター北側駐車場において、「プロジェクト上映会」を行い、約130名の方が集まりました。これは現在の小須戸中学校1年生が小学校6年生だった時に総合学習で取り組んだ成果を「壁面に投影して発表したい」との提案があり、それを受けて小須戸コミュニティ協議会環境・教育部会が映像制作に取り組み、上映会を実現させました。



発表するこの日に向けて、映像や音声を子どもたちの手で作り上げてきました。



上映後、小野秋葉区副区長より「プロジェクト上映会はおそらく市内で初めての試みで、実行委員の方々は産みの苦しみがあつたと思います。」との労いの言葉がありました。

「令和」になって初めての文化祭を皆で作り上げましょう！

小須戸文化協会 会長 杉本昭彦さん



伝統ある文化祭は市民展が第45回、芸能祭は第35回となり、時代が昭和から平成、そして令和と遷り変わる中、新元号となって初めての開催となります。

また、会場が小須戸まちづくりセンターとなっております。小須戸文化協会と小須戸地区公民館との共催、まちづくりセンター及び小須戸・矢代田の両コミュニティ協議会並びに、地域の活動団体・教育機関の皆様との協働体制のもと、「皆で作る文化祭」として、生涯学習の成果を市民展と芸能祭の場でぜひとも発表していただきたいと思っております。

## 第45回小須戸地区市民展 作品募集

## 第35回小須戸地区芸能祭 出演募集



- ・開催日 10月26日(土)～27日(日)
- ・会場 小須戸まちづくりセンター
- ・部門 日本画・洋画・書道・写真・工芸・版画・彫塑・文芸・その他
- ・出品資格 秋葉区内に在住または通勤・通学している方
- ・出品点数 お一人2点以内
- ・展示 出品作品は無審査で展示します 展示期間中の搬出はできません 展示方法は主催者側に一任ください
- ・出品料 無料
- ・申込期間 9月9日(月)～27日(金) ※締切厳守・FAX可
- ・搬入 10月25日(金) 午後3時～午後8時
- ・搬出 10月27日(日) 午後4時～午後5時
- ・その他 作品の保全につきましては、責任を持って取り扱いますが、不慮の災害・事故等についてはこの限りではありません

- ・開催日 11月10日(日)
- ・会場 小須戸まちづくりセンター 3階 多目的ホール
- ・部門 演奏・唄・踊り・ダンス・体操・その他
- ・出演資格 小須戸文化協会所属団体または秋葉区内で活動している団体(自薦・他薦問わず)
- ・出演料 無料
- ・出演時間 1団体10分以内
- ・申込期間 9月9日(月)～10月4日(金) ※締切厳守・FAX可

◆市民展・芸能祭の募集要項及び申込書は下記の施設に備え付けてあります。  
小須戸地区公民館・小須戸出張所・小須戸まちづくりセンター  
小須戸地区ふれあい会館・新津地区公民館

◎申し込み・問合せ 小須戸地区公民館  
〒956-0101 秋葉区小須戸120番地5  
TEL 0250-25-5715 FAX 0250-38-5210

## 『ドキドキ・ワクワク ふれあいサッカー教室』 参加者募集

- ◆日時：10月6日(日) 午後3時15分～5時 ◆会場：小須戸体育館 ◆参加費：無料 ◆持ち物：室内用運動靴・ボール・飲み物・タオル等
- ◆定員：秋葉区に在学・在住の小学1～6年生70名(先着順) ◆内容：アルビレックス新潟の選手たちを交えたサッカー教室・写真撮影会
- ◆申込み：9月18日(水) 午前10時から募集開始 ～ 9月29日(日) 午後6時必着で アルビレックス新潟HP(こちらから) もしくは専用の申込み用紙でFAX(025-280-0012) ◆問合せ：アルビレックス新潟サッカースクール TEL(025-280-0011)



第17回 蒼丘の里 秋まつり ◆日時 10月5日(土) 13時30分～15時30分 ◆会場 特別養護老人ホームこすど蒼丘の里  
◆内容 飲食ブース・ゲームコーナー・余興など ◆問合せ ☎0250-61-0333 ※ボランティアを募集しています(詳細は左記問合せ先まで)  
※施設前駐車場には限りがありますので、お車でのご来場は極力ご遠慮ください(矢代田駅徒歩10分)



# 7月の公民館事業を終えて

## ●はじめての押し花教室 & 男の料理教室

◆「はじめての押し花教室」  
「花と緑の小須戸」ならは、花や葉を使った「押し花」の制作を通して心休まるひと時を設け、また活動を通して仲間づくりの機会となるよう働きかけるために本年度初めて企画をしました。

参加者は、押し花のレイアウトや配色などを考えながら、ポストカードやミニフレームづくりを楽しんでいました。



【受講者の作品の一例】身近な草花を使って素敵な作品が仕上がりました。

講座は2回だけでしたが、終了後のアンケート結果では満足度が100%となり、押し花の魅力が参加者に十分伝わった講座となりました。

講師の阿部静枝さんと石黒雪子さんのきめ細やかな指導により、押し花を続けたいという受講者も出てきたため、まちづくりセンターで毎月第2土曜日に行われている「押し花サークル」をご案内しました。

館報を見て押し花に取り組んでみようと思われた方は阿部さん(38-2154)までお問い合わせください。

また、制作した作品は10月26日(土)・27日(日)の「小須戸地区市民展」に展示いたします。

## ◆「男の料理教室」

講座を企画して5年目となる今年は「アジ」を使った魚料理に挑戦しました。1回目には夏らしい「アジの蒲焼き・きゅうりとみょうがの和え物アジのすり流し汁」を作りました。「大名おろし」という魚のおろし方を習い、下処理の方法も教わりました。「大名おろし」とは文字通り大名がおろしたように骨にも身がついた初心者用のおろし方ですが、骨についた身も無駄にせず美味しく調理する方法を教わりました。

2回目はアジの皮を剥いて「なめろう・冷しゃぶの梅ドレ和え・夏野菜の貝沢山汁」を作りました。たくさん手間をかけた分、味は格別で、どの班からも「おいしい」という声があがっていました。「講座で習ったことを活かしてお子さんの魚嫌いを克服させたい。」などの感想がありました。



(上):アジのぜいごの部分を慎重に薄く取っています。

(下):中骨に付いた身をすくい取って捨てています。



7月25日(矢代田)・8月2日(小須戸)「夏に負けないスポーツ体験」



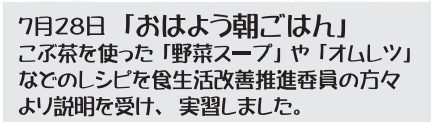
東京オリンピック開催までちょうど一年を切った日に、「アジアタ」や「カーリンコン」といったニュースポーツに挑戦しました。



令和元年度 夏休み「ごども事業報告」夏休みの素敵な思い出づくりが出来ました!



8月21日(矢代田)・23日(小須戸)「やってみよう科学実験」新潟薬科大学の学生の指導を受けて、炭で作る電池や毎年人気のスライム作りなどの実験を行い、自由研究に活用した人もいました。



7月28日「おはよう朝ごはん」こぶ茶を使った「野菜スープ」や「オムリツ」などのレシピを食生活改善推進委員の方々より説明を受け、実習しました。

## 「小須戸商工まつり」開催

毎年恒例の「小須戸商工まつり」が行われ、美味しんぼ屋台を始め、小須戸保育園・幼稚園のダンスや勇壮な「小須戸喧嘩太鼓」の披露等があり、大勢の見物客で盛り上がっていました。



「小学生による商工会館前での小須戸喧嘩太鼓の披露」

## 文芸欄

俳句  
南風吹くはるかに兄のインパール  
台風にいざなはれつつ巨星落つ  
老鷹を間近に朝の庭仕事  
散策の我を引き寄せ赤い百合  
子の新居訪ふ旅や夏木立  
終活に日傘も用なき我が身かな  
里はるか弥彦角田に雲の峰  
二十五メートル泳ぐ目標雲の峰  
雲の峰汝は何処へ睥睨す  
しばらくは夏の月見て眠りけり

川柳  
会談よりうわさ話で盛り上がる  
覚えある風の噂に雲がくれ  
地獄耳イヤなうわさはすぐキャッチ  
うわさって風の便りと無責任  
賞味期限過ぎて戻ってきた噂  
効きそうな噂の薬飲んでみる  
真青なコキア・ラベンダー緑葉だ

短歌  
秋天を突くごと連風のぼり行く  
風操りて夫と糸引く  
くずの花紅紫の零れゆく  
茎が巻きつきどこ迄伸びる  
電線に二羽のガラスが寄りそって  
何を語るや初夏の夕暮れ  
ダイヤアへ靴の中は下着類  
旅のごとしと独り笑ひぬ

俳句・川柳・短歌募集  
題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、9月24日(火)までに小須戸地区公民館へ。

この唄は85年前に天才詩人の今井十九二らによって完成。時代の波に浮き沈むこの唄を九年前蘇らせようと立ち上がったのがYさんでした。「死ぬ前に町の為に何かしたい」と音頭の復活を持ちかけられた時、熱涙にむせびながら私は二つ返事で引き受けました。それから本当に大変でした。昔のテープを起して三味線や太鼓の譜面を作り、仲間と共に必死で子ども達の育成に取り組んだのです。その甲斐あってか「新潟市民文化遺産」に認定され、悲願の後継者もNさんに委ねることがようやくできました。やっとここまで来ました。

「余生は小須戸音頭と甚句の保存に」  
越の太夫 信濃の川にホイ  
映す弥彦の映す弥彦の晴れ姿ソレ  
シャンシャン シャッカラリンの  
トントン(11番まで)  
63年ぶりに復活した甚句、町の  
産業や名物が織り込まれた情緒あ  
るこの唄を次世代に引き継ぐこと  
が私の悲願です。

桜井久子さん  
(秋葉区新栄町)



### 知学(地学)健康ウォーク 参加者募集!

#### 地域の知られていないお宝探検! 「小須戸地蔵・石仏」編 第2弾

横川浜・小向・水田方面の民間信仰に根差したさまざまな史跡を巡って、行程約6キロ、3時間かけて歩きます。みんなで楽しく健康的に歩ませんか!

◆日 時 令和元年10月19日(土) 小雨決行  
8:15 「ワークセンターほほえみ」前駐車場集合  
(新潟市秋葉区小向 1744)  
8:30 出発 11:30 解散(予定)

◆参加費 300円(保険料・参加費)当日受付でお支払ください。

◆募集人数 先着30名(小学生以下は保護者同伴でお願いします。)

◆行程 **小向 ~ 横川浜 ~ 水田 ~ 小向**

◆申込方法 下記の事務局にある参加申込書にご記入の上、お申込みください。  
・小須戸まちづくりセンター TEL 0250(25)7069  
・小須戸地区ふれあい会館 TEL 0250(38)3151

◆申込締切 10月12日(土)までをお願いします。

◆問合せ先 高野 豊さん 携帯:090-4098-4356  
※動きやすい服装と靴でお越しください。飲み物、タオル等は各自で用意ください。

主催:小須戸コミュニティ協議会/山の手コミュニティ協議会/小須戸地区スポーツ振興会  
後援:小須戸地区公民館  
※この事業は新潟市の補助金を受けています。

